



人・知・技を通じて世界へ

文明・文化の相互理解と協調

京都大学では、世界の舞台で活躍する人材の育成や学術水準の向上などを目的に、積極的な国際交流を行っています。現在では 20 カ国を超える海外の大学と大学間学術交流協定を結び、多数の学生・研究者を派遣するとともに、2,000 名を上回る留学生・外国人研究者を受け入れています。

受け入れた留学生は、本学学生とともに英語による「京都大学国際教育プログラム (KUINEP)」などを通じて相互交流を行い、また、交流のための施設として「KI・ZU・NA」を本部構内に設置したほか、宿泊施設である「国際交流会館」の充実を図っています。

一方、日本人学生の積極的な海外留学を促進するため、本学以外の学生も参加対象とした「京都大学留学フェア」を開催し、海外留学についての情報提供を行っています。

国際学術組織における活動としては、「東アジア研究型大学協会 (AEARU)」および環太平洋大学協会 (APRU)」へ参加しています。また、平成 13 (2001) 年には、宇宙電波科学研究センター (現・生存圏研究所) がインドネシアに赤道大気レーダーを設置するなど、人材・知識・技術のあらゆる面で交流を推進しています。

さらに、途上国支援や海外での「京都大学国際シンポジウム」の開催など、多面的な貢献を実現しています。



- ① 本学留学生と日本人学生の交流
- ② 留学生の交流施設「KI・ZU・NA」
- ③ 国際交流会館における外国人家族を対象とした生け花教室
- ④ エジプトでのスフィンクス劣化に関する調査 (工学研究科)
- ⑤ 京都大学留学フェア
- ⑥ 留学生 70 名が参加した九州見学旅行での様子 (別府・血の池地獄の足湯)